

こ  
ん  
に  
ち  
は

し も す わ  
町 議 会  
で す

♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡

新町長のめざすまちづくりに質問集中……………7～13p



静寂なる冬のいづみ湖（撮影：福王寺 嵩平）

# 一目でわかる議決結果

## 10月臨時会

議案名（一部省略）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">同意</span> 監査委員の選任	→詳しくは4ページへ

## 11月臨時会

議案名（一部省略）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">承認</span> 【専決処分】 令和2年度一般会計補正予算（第6号）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">承認</span> 【専決処分】 令和2年度一般会計補正予算（第7号）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	} →詳しくは4ページへ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 諏訪広域連合規約の変更	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 令和2年度一般会計補正予算（第8号）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 健康ステーショントレーニング機器等の購入について	

## 12月定例会

議案名（一部省略）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 税条例の一部改正	→詳しくは5ページ①へ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> おんばしら館条例の全部改正	→詳しくは5ページ②へ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> しもすわ今昔館の指定管理者の指定	} →詳しくは5ページ③へ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> おんばしら館よいさの指定管理者の指定	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 八島ビジターセンターあざみ館の指定管理者の指定	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 埋蔵文化財センター星ヶ塔ミュージアムの指定管理者の指定	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 国民健康保険税条例の一部改正	→詳しくは6ページ①へ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 後期高齢者医療に関する条例の一部改正	→詳しくは6ページ②へ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 老人福祉センターの指定管理者の指定	→詳しくは6ページ③へ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 令和2年度一般会計補正予算（第9号）	→詳しくは5ページ④、6ページ④へ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 令和2年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第2号）	→詳しくは6ページ⑤へ
請願名	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">採択</span> 安心安全な教育環境のための少人数学級を求める請願	→詳しくは3ページへ
陳情名	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">採択</span> 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	→詳しくは3ページへ
意見書名	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 安心安全な教育環境のための少人数学級を求める意見書	} →詳しくは3ページへ
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	
<span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">可決</span> 不妊治療への保険適用の拡大等を求める意見書	

# 請願・陳情・意見書の審査結果

請願第1号

請願者 新日本婦人の会 下諏訪支部

安心安全な教育環境のための少人数学級を求める請願

賛成多数で採択

新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式」の導入が、コロナ禍の下でも子どもたちの豊かな学びを持続的に保障できる教育環境を作ることが求められています。新型コロナウイルス感染収束後も、感染症対策と子どもたちの成長発達及び学びの保障を両立していくために義務教育標準法を改正し、義務教育における30人以下

の学級編制となるよう教員定数の充実と教室確保を国の責任で行うよう要望するものです。

「20人学級を展望し少人数学級を要望するもので、30人学級は良いが、20人程度は現実的でないから趣旨採択で」「コロナ禍で少人数学級が見直されているので賛成」との討論があり、賛成多数で採択しました。



請願採択を受け

意見書案第8号

委員会提案

安心安全な教育環境のための少人数学級を求める意見書

国へ 全会一致で可決

陳情第2号

陳情者 長野県医療労働組合連合会

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

全会一致で採択

新型コロナウイルス感染症によるパンデミック(感染爆発)対応から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足やそれらを担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足及び保健所の不足などです。

これらのことから、「新たな感染症拡大に対応できる医療・介護・福祉に十分な財源処置を行う」

「公立公的病院の統合再編を見直し、医療体制の充実を図る」などを求めるものです。全会一致で採択しました。



陳情採択を受け

意見書案第9号

委員会提案

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

国へ 全会一致で可決

意見書案第10号

議員提案

不妊治療への保険適用の拡大等を求める意見書

国へ 全会一致で可決

近年晩婚化などにより不妊に悩み治療を行う人が増えていますが、不妊治療は保険適用がされておらず経済的負担が大きくなっています。不妊治療を安心して受けられるように「様々な不妊治療

を保険の対象にする」「保険適用されるまでの間は特定不妊治療への助成を充実させる」などを求めるものです。全会一致で可決しました。

## 11月臨時会・12月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議員名(議席順)	議決等結果	金井敬子	岩村清司	中村光良	田嶋彰	青木利子	中山透	樽川信仁	増沢昌明	松井節夫	林元夫	大橋和子	野沢弘子	森安夫
議案名等(省略)														
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	-	○	
令和2年度一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	-	○	
令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	-	○	
令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	-	○	
安心安全な教育環境のための少人数学級を求める請願	採択	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

可決・採択に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、欠席者は「-」。議長は採決に加わらないため、「斜線」としてあります。

10月臨時議会

新議会体制が発足

宮坂徹議員の辞職に伴い、議会人事を決定するための臨時議会が10月5日に行われ、議長に金井敬子議員、副議長に森安夫議員、議会運営委員長に林元夫議員が選出されました。また、林元夫議員の町監査

委員辞任に伴い議会選出監査委員に青木利子議員の町からの選任議案が提出され、同日議会の同意がなされました。下記に新しい議会構成図を示しましたので、よろしくお願ひします。

11月臨時議会

トレーニング機器購入などを議決

去る11月30日に臨時議会が開催され、人事院勧告に伴う町職員の給与に関する条例の一部改正など、諏訪広域連合規約の変更、条例改正に伴う一般会計などの補正予算及び健康ステーショントレーニング機器等の購入についての議案が審議されました。

町職員の給与に関する条例改正では、「勧告が減額であり、町職員組合への説明が不十分である」との反対討論。「組合とは例年、勧告に沿って給与を決定すると合意されており問題はない」との賛成討論。賛成多数で原案通り可決しました。

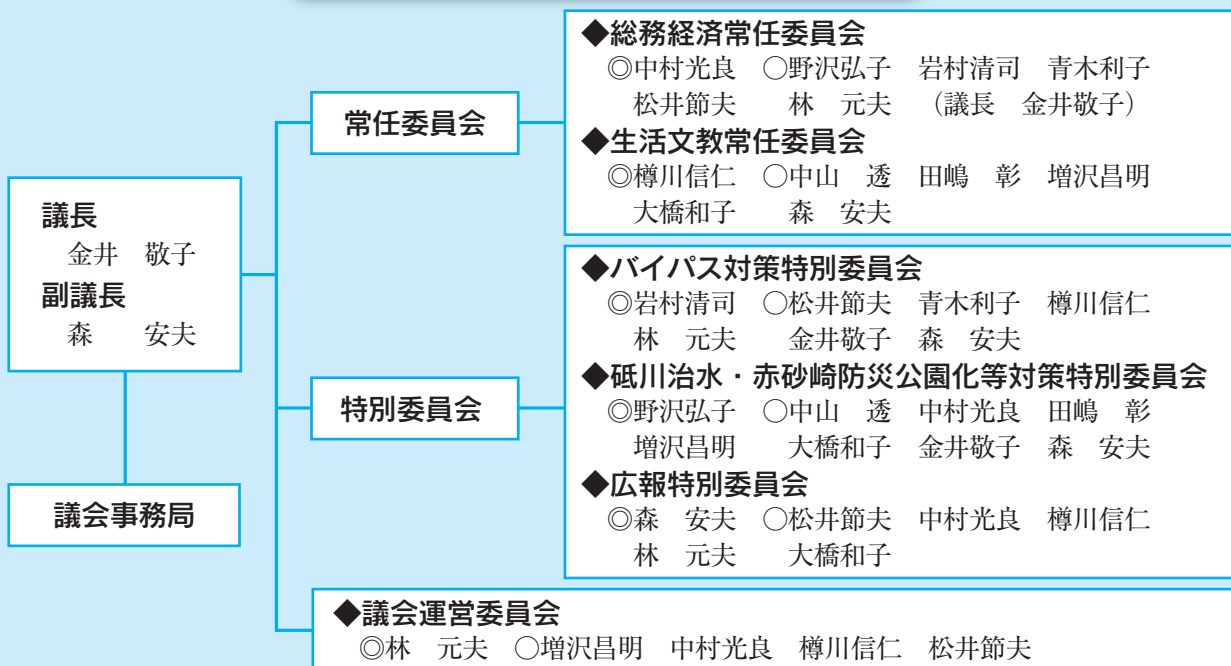
諏訪広域連合規約の変更では、介護保険の保険給付費関係経費における負担割合を来年度から「人口割80%・保険給付費20%」に変更し、地域支援事業関係経費を「高齢者人口割」に変更するものです。下諏訪町にとって保険給付費関係経費は増加するものの、地域支援事業関係経費を高齢者人口割にすることにより実質的には有利になることや現実に対応した規約変更と言えることから全会一致で原案通り可決されました。

健康ステーショントレーニング機器等では68種類の機器の購入が決定しました。



下諏訪町議会は この構成です

◎委員長 ○副委員長



# 地域開発整備基金に1億円



## 力強い町の明日へ

総務経済常任委員会

### ① 特定非営利活動法人への 寄附金に税軽減

長野県での条例が新設され、同条例に規定された特定非営利活動法人へ寄附した場合に、個人県民税が一部軽減されることになりました。

下諏訪町でも、同寄附金に対して個人町民税が一部軽減されることになりました。

### ② おんばしら館を町の 運営から指定管理運営へ

これまで、町が運営してきた「おんばしら館よいさ」の管理を、指定管理者に行わせるため、条例の全部を改正します。

指定管理者を指定することで、物品販売や、旅行会社との連携のほかイベント等で収入確保に努めていくとしています。

### ③ 観光4施設で 指定管理者を指定

★しもすわ今昔館

★おんばしら館よいさ

★埋蔵文化財センター

星ヶ塔ミュージアム

・3施設の指定管理者には、一般

社団法人下諏訪町地域開発公社

★八島ビクターセンターあざみ館

・指定管理者には、下諏訪観光協会をそれぞれ指定します。

4施設とも、指定期間は令和3年

4月1日から令和8年3月31日まで

の5年間。おんばしら館は新規、他

の3施設は指定の更新です。



指定管理者に移管する おんばしら館よいさ

### ④ 各種基金への積立

#### 【総務課】

○一般寄附金52万10000円を賜り、財政調整基金に積立てます。

○総務費寄附金10万円を防災諸費に財源振替します。

#### 【税務課】

○ふるさとまちづくり寄附金431万円を賜り、385万5000円をふるさとまちづくり基金に積立てます。また、寄附記念品代を150万円増額します。

#### 【産業振興課】

○観光振興事業費で、申請を受けた旅館等宿泊施設の改修費用を補助するため、400万円を増額補正します。宿泊施設等の魅力度向上を図ります。

#### 【建設水道課】

○国からの地方交付税が見込みより1億円増額となったのを受け、地域開発整備基金に積立てます。ジヨギングロードの街路灯整備、サイクリングロード整備、町道改良事業など大型事業が控えており、今後の国からの交付金の状況など見ながら、適切かつ有効に活用していきたいとしています。

引き続き社会福祉協議会へ

老人福祉センターの管理



生活文教常任委員会

③ 老人福祉センターの管理  
社協へ再指定

令和3年3月31日で指定期間が切れるため、老人福祉センターの管理を社会福祉協議会に再指定するものです。大幅な収益の見込めない施設であり、公共的な施設での管理が望ましいとの理由から、同協議会に継続して管理をお願いします。町民から苦情等はなく、適切に運営されていると説明がありました。

④ 資源等ごみ処理費の増加

討論では、「厳しい財源の中、適切に補助をしてほしい」との賛成討論があり、全会一致で可決しました。

⑤ 特別養護老人ホームに  
寄附金

○「湖畔の湯」の消毒・殺菌処理装置の老朽化に伴う取り替え工事に対して補助。  
○在宅障がい者の移動支援を行う事業者に対して、マスクや消毒液等を購入する経費を補助。  
討論では、「塵芥処理費について、近隣市町村の処理費の状況を判断して対応してほしい」「こども未来基金は子どもたちのために有効に活用してほしい」などの賛成討論が出され、全会一致で可決しました。

○外出自粛等から塵芥処理費が約78.9万円増加。ペットボトル、発泡スチロール等は、利便性の高い駅東リサイクルステーションへの持ち込みが増加。金属類は当初予算時より、地区収集で約30トンの増、赤砂崎での月例収集で約10トンの増。さらに処理単価が1kgあたり5.5円増になっているため。

○ふるさとまちづくり寄附金を賜り、こども未来基金へ44万円を積立てます。

○国より全額補助を受け、税制改正に伴う国民年金システムを改修。

① 国保税条例を一部改正

国の税制改正に伴う個人所得課税の見直しにより、公的年金等控除や給与所得控除から基礎控除への10万円の振替の影響により、不利益を生じさせないために、国保税の基礎控除額相当分の基準額を引き上げる一部改正です。町への影響は360名、420万円の減収になります。全会一致で可決しました。

② 後期高齢者医療に関する  
条例の一部改正

国の地方税法等の一部改正が行われ、延滞金に関する用語の見直しが行われたことに伴う改正です。延滞金の割合に変更はなく、今までと変わることはありません。全会一致で可決しました。



県下唯一の公営特養施設のハイム天白

寄附金3万5000円を特別養護老人ホーム福祉施設基金に積立てます。同基金残高は約680万円となりました。

# 私たちは問いかけ提案する 一般質問



※下諏訪町議会のホームページから、一般質問の詳細や録画画像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



12月定例会の一般質問は、代表質問を3グループ、単独質問を3人が行いました。

**7 P 大橋和子**  
「中山道を観光ゾーンに組み入れては」

**8 P 林 元夫**  
「温泉事業を企業化し継続可能な事業に」

**岩村清司**  
「諏訪地域6市町村の将来の模索」

**9 P 日本共産党**  
代表 増沢昌明  
関連質問 松井節夫  
「平和に対する考えは」

**10 P ~ 11 P 令和会 A**  
代表 森 安夫  
関連質問 青木利子  
田嶋 彰  
中村光良  
「新型コロナの町内経済への影響は」

**12 P ~ 13 P 令和会 B**  
代表 中山 透  
関連質問 野沢弘子  
「町が考える“新しい”生活様式とは」

**Q** 中山道を観光ゾーンに組み入れては



**A** 関係各所と連携して検討

大橋 和子



**Q** 窓口ワンストップによる「食・泊・巡」施策は。  
**A** 秋宮前を観光拠点としての機能を持たせることを検討している。  
**Q** 縮の湯の将来像は。  
**A** 活用検討委員会の意見を基に周辺施設も含めてまとめたい。  
**Q** 町内旅館は団体の受け入れが困難。下ノ諏訪宿の面影整備で宿泊施設のこれからをどう考えるか。  
**A** 稼げる観光という視点で見ると魅力ある宿泊施設

の整備は大事。団体旅行者を受け入れる施設は現状難しい。

## 古き良き観光地中山道

**Q** 観光エリアのゾーニングとあるが、新たなゾーニングに中山道をどう位置づけるか。トイレは。  
**A** 令和3年には樋橋のトイレ設備を検討している。西餅屋でのトイレは下水道の設備がないため、難しいが、ベンチについては新たに設置が考えられる。

の整備は大事。団体旅行者を受け入れる施設は現状難しい。



トイレは樋橋公会所に併設予定

**Q** コロナ後のインバウンド受け入れの具体的施策は。  
**A** 飲食店に協力してもらい、食材をピクトグラム(絵文字)で表示してもらおう等、おもてなしの一つとして考

えている。今年度末に向け、ホームページでの英語紹介や案内看板設置を準備。  
**Q** 企業流出をどのように捉えているか。  
**A** 流出原因は企業受発注の増加に伴う自社の施設拡大のため、広く工業に適した土地に工場を構えるためと考えられる。  
**Q** 現在の家庭用蓄電池の普及は。  
**A** 災害時の停電対応など、補助制度の実施に向け研究していきたい。

Q 諏訪地域6市町村の将来の模索

A 研究プロジェクトの立ち上げ



岩村 清司

は。広域合併の模索も含め

Q 諏訪6市町村で具体的に連携できる項目は。 A 広域連合では来年度において、デジタル化に伴い諏訪地域行政情報推進委員

た公民参加型とは。 A 見識をお持ちの皆さんにより民公協働のプロジェクトにおいて将来像を見極めるために客観的な議論を行う。そこから得られた情報を住民の皆様にお示ししたうえで、住民の皆さんにも客観的なご判断を頂く方向。十年二十年後にどんな状況が望ましいか考える中で、広域連携や合併という選択肢があると思っています。

Q 6市町村の合併の見通しについてどのように考えるか。 A 具体的に申し上げるのは難しい。



市町村合併に関する書籍

Q 諏訪6市町村長選挙が全て無投票になった要因は。 A 政治に対する関心の薄れ。人材不足。今回は新型コロナウイルスの影響等が考えられる。 Q これからの町政に対する民意をどのように汲み取っていくのか。 A 「お出かけ町長室」で私自身

Q 温泉事業を企業化し継続可能な事業に

A 総合的に検討 温泉利用も検討したい



林 元夫

Q 温泉事業の公企業会計化をどのように考えているか。 A 町の地方公営企業法に

総合的に検討する。温泉利用についても持続可能な事業にするため研究・検討したい。



高木源湯の配湯設備

公共施設の管理計画は。 Q ファシリテイマネジメント(継続可能な公共施設管理計画)の進捗状況は。 A 町公共施設等総合管理計画に示す方針に基づき、

命化を図る中で、最も大事なものは中長期的な財政計画。安定的に推進していくために、個別計画と行財政経営プランとの整合性を図り、一体的に管理することが必須と考える。 Q 諏訪6市町村合併に対する考えは。 A 住民の客観的な議論や判断から生まれた民意が最も尊重される。



<グループ名>

日本共産党



<所属議員>

増 沢 昌 明  
松 井 節 夫

### Q 平和に対する考えは

### A 戦争を風化させない取り組みを

Q 町長の、安全安心・平和に対する考えは。

A 「自助」は防災用語で、政治には当てはまらない。戦争体験者が減少しているが、風化させてはならない。

Q 町長・議員選挙の無投票をどのように考えるか。

A 地方政治への関心の低下と参加意識の希薄が原因。

Q 無投票の解決策は。

A 住民に未来を自身のことと受け止めてほしい。来年は、「お出かけ町長室」で地域に向ききたい。



非核宣言都市下諏訪

### Q コロナ感染防止対策は

Q 医療福祉等の現場で働く方へのPCR検査は。

A 県では9000人検査

出来るセンターを準備しているが、必要な人が受けられるよう意見を上げていく。



下諏訪町保険センター

Q コロナ禍での生活困窮家庭への対策は。

A 窓口で早急な対応に努めている。緊急小口生活資金、住居確保給付金等でも間に合わなければ生活保護の申請等を勧めている。

### Q 高齢者対策の拡充を

Q 高齢者の生活支援体制の整備を、どう進めるか。

A 高齢者の多い当町で福祉推進は重要な施策である。「見守り」や「元気で長寿」を頭に据えて、施策を組み立てていきたい。

Q 「ハイム天白」の運営継続についての考えは。

A 県内唯一の公営公設で、安価で利用出来るため、町民にとって大切な施設である。運営は大変厳しいが、継続していきたい。

Q 現在の介護保険料は介護保険開始時の平成12年度の倍になっている。これ以上値上げしないで欲しいが。

### Q 教育の充実のためには

Q 少年数学級の実現は。

A コロナ臨時休校明けの午前と午後に分けた授業への先生方の評価は高い。長野県で既に導入している35人学級編制を、国が考えていることは望ましい。次へのステップであると思う。

Q 児童生徒の全員タブレット使用の授業とは。

A 黒板に変えて自分のタブレットで確認したり、記録や発表に使う。授業は今まで通り進め、出来るところからタブレット使用を開始する。

### Q 滞納解決の取り組みは

Q 納税状況の推移は。長期滞納の解決は進んでいるか。

A 前年度並みの収納率で推移中。滞納には、町民に寄り添い分納などの対応に努めている。悪質な場合は、県の滞納整理機構にゆだねる。

### Q 安全な地域づくりを

Q 急傾斜地の危険解消は。

A 武居の対象箇所工事は2月に完成見込み。他に、対象箇所はない。

Q 町道危険箇所柵の設置を。

A 要望に応じ調査・対応。

Q 町屋敷・向陽台の盛土安全調査の進捗状況は。

A 来年度、詳細調査をする。

Q 国道20号諏訪バイパストンネル掘削で、地下水や温泉の枯渇が懸念されるが。

A 既に実施済みの国の調査結果が、今後公表され、説明会を開催予定。

町長の選挙公約

Q 公約における基本理念への思いは。



諏訪湖上空から望む下諏訪町

チェックをしたり、効率化よりは窓口業務における住民の対話などを大切にしてきた。少子化の中で効率化も検討するが、確実な業務展開を大切にしたい。

Q 豪雨災害、線路下地区の雨水排水対策は。



H18年7月豪雨時の泉公園付近

A 近年の異常気象で被害が甚大化しており抜本対策を講じる必要がある。事業の実施のためには実際に雨が降った時の流入量などの調査が必要。調査結果に基づき水路などの対策を検討した上で工事着手になる。次年度は流入量等の調査を実施したい。

企業誘致の考えは。

A 工場用地が少なく大規模な工場誘致は出来ないが、ソフト事業など広い用地を必要としない企業を誘致する。こうした企業が地元企業と連携し新たな事業展開に繋げたい。

Q ホシスメバの活用状況は。

A 8部屋準備し今年3部屋退去、入居募集をする。今年新たに2部屋リノベーションした。ここを拠点に町内に来てくれ、定住される方も出てきている。

Q 首都圏が転出者数増に転じた。下諏訪町の転入者の実態は。

A 県は昨年に比べ転入が1・6%増えた。下諏訪町の転入者は48人少なく約11%減っている。

Q 当町はなぜ来ていただけなのか。コワーキングスペース（共同で仕事をできる場所）などテレワークができる施設はあるのか。

A 「ミーミーセンター」「ホシスメバ」「ら。shirorotori」などにネッ

新型コロナウイルスの町内経済への影響は

A 店を閉めるなどの影響が出ている

<グループ名>

令和会A



<所属議員>

夫子 彰 良  
安 利 光  
木 嶋 村  
森 青 田 中

Q 生活困窮者などの実態は把握できているか。

A コロナに伴う相談は12月現在73件、うち62件は緊急小口資金、総合支援資金貸付などの相談。町独自の善意銀行の生活つなぎ資金の貸し付けは12月現在5件。生活保護の新規受給は今年度6世帯6人。一方、支給廃止は転出・死亡・収入増などで10世帯13人。現在84世帯100人が受給している。コロナの影響は顕著でないが、今後も必要な支援を行う。

Q 町独自の経済対策は。

A 町だけでの独自支援は厳しい。国は追加経済対策中でコロナ対策として地方創生臨時交付金を予算化する。当町には第1次補正と同規模の1億円位交付されると推定される。現在令和3年度予算編成をしているが、コロナ関連予算は前倒して3次補正に振替え、早期に感染症対策、事業者等への支援、新たな生活様式に対応する等、住民生活・経済活動を支援する。

行政の効率化には、民間目線も必要とされ、いくつかの行政が導入しているが。

将来を見据えて常に行政改革に取り組んでいく。

Q 行政の効率化には、民間目線も必要とされ、いくつかの行政が導入しているが。

A 町の業務は法令等に沿って間違いなく2重3重の

産業の振興策

Q 工業の衰退が著しいが、

ワーク環境が整っている。  
**Q** 観光産業化の考えは。



観光の戦略拠点「しもすわ今昔館」

**A** 関連団体の窓口を一元化し、管理運営部門と情報収集や発信を行う観光振興部門を設置して戦略的に推進する。

**Q** 窓口一元化とは。

**A** 施設の窓口ではなく、来客者に対する情報などを一元化することで誘客に結び付けやすくなる。

**Q** 工業とともに観光の産業化の具体的な方法は。

**A** 歴史文化を学んで体験できるプログラムなど、工業分野と連携して稼げる形に結び付けたい。

### 若者の目線を取り入れて

**Q** 旅館や民間との協働が大切だが、具体的なアイデアを、向陽高校生等をはじめ一般公募で募ると聞く。

また、今年度の中高生の提案の中に「下諏訪温泉について観光客にも26日の風呂の日のPRを」とあったが。

**A** 向陽高校には産業まつりやインターンシップの参加等で協力してもらっている。そういった形から協力を。

**Q** PRの方法は。

### 高齢者問題への取組

**Q** 高齢者福祉施策の充実、高齢者社会問題への取り組みは。

**A** 現在「第9次高齢者福祉計画」の策定を進めている。策定に先立ち昨年度行った実態調査の実施結果から、「介護予防の推進」「認知症高齢者対策の推進」「高齢者に対する社会参加支援」「高齢者の暮らしを支える支援の充実」の四つの課題を重点的に取り組んでいる。

**Q** 民生児童福祉委員の実態は。

**A** 現在56名の方に民生委員をお願いしている。平均年齢は69歳となっている。

**Q** 民生委員の交代期に人選に苦労されていると聞いています。直近の様子は。

**A** 3年に一度改選を行い、推薦委員会を選考、推薦を頂き、委員の委嘱を行っている。人生経験の豊富な元気な方は定年後もお仕事を続けている方が多く、また活動内容に対して負担感を

お持ちの方も多いため、受けていただけない状況もある。現在も1地区の民生委員が不在の状況が続いているなど、人選には大変苦慮している。

**Q** 民生委員の負担軽減についてどのように考えているか。

**A** 民生委員の苦労や悩みに対処するため、相互の情報交換が出来る環境づくりに取り組んでいる。現在は基本的には毎月感染防止対策を十分に行った上、定例会を開催している。さらに定例会終了後には、町社会福祉協議会による民生委員への「なんでも相談会」を毎回実施し、民生委員が抱えている相談事などをお聞きするなどの対応をしている。

### 学校課外活動に支援を

**Q** 町内学校の課外活動で本人負担に対する支援への考え方はどうか。

**A** 各学校に対して学校運営補助金を交付し、授業や部活動、職員研修等に有効に利用してもらっている。

本人負担に対しては、こども未来基金を活用した教育支援も行っている。

**Q** 未来基金や奨学金活用の考え方は。

**A** それぞれ活用目的が定められている。特別な事情については活用も考える。

### 川が見える街に



南小に隣接する人工なぎさ

**Q** 人気のある観光地は街中を流れる清流をセールスポイントとしている。町内河川を活かしたまちづくりに力を入れてほしい。

**A** 交通対策、防災上の問題があり、川が見える環境が減っているのが現実だ。環境整備、観光のまちづくりという観点からも水の流が見える景観は重要と考える。

<グループ名>

令和会 B



<所属議員>

中山透  
樽川信仁子  
野沢弘

Q 町が考える「新しい」生活様式とは

A I-T化でも人間性重視が大切

どうなる？来年度予算

Q 令和2年度の収入見込みは。

A 新型コロナウイルスの影響を受け、1・4%の減収見込み。

Q 令和3年度の税収の見込みは。

A 個人住民税は1%減、個人法人税は1.5%減、入湯税は1/3程度の見込み。

Q 令和3年度新規事業は。

A 文化センター改修工事 実施設計、四ッ角公園事業を新規事業として考えている。



来年度実施設計予定の文化センター

産業振興について

Q GOTOトラベル事業の効果は。

A 町内宿泊稼働率は前年対比で、4月5月は90%減、

10月は2割増で、事業評価できる。

Q プレミアム商品券の町内事業者への影響は。

A 12月8日付で、約2億3000万円が換金された。

高齢化社会への対応は

Q 自動車免許返納者への自転車安全講習会実施を。

A 警察とともに、リーフレットでの啓発や講習会を実施していく。

Q アクセル、ブレーキ踏み間違い防止対策は。

A 自治体で独自の補助を行っているところもあるのですが、今後研究していきたい。

Q フレイル（加齢による身体能力低下）予防対策は。

A 庁内関係課で横断的に調整、予防事業を行っている。

Q 独居高齢者へのフレイル予防対策は。

A 多世代交流事業を促進し、高齢者が活躍できる居場所づくりを行う。

Q 防災への周知な備えを

Q 砥川の100年確率整

備の検討状況は。

A 町としては、県が整備していくものと理解している。今後の事務レベルでの勉強会の状況を見て対応する。



赤砂崎から見る砥川

Q 防災マップの活用状況は、どうか。

A 中学校の授業や、不動産購入時の活用などがある。

Q 防災ラジオの販売回転は。

A デジタル式個別受信機は、1台約4万円。今後、ラジオ付が開発された時に検討する。

Q 災害時、住民からの情報収集は。

A アプリケーションの整備や人材確保等の課題があり、研究していく。

Q コロナ禍での避難所開設の課題は。特に、収容人数の減少への対応は。

A 避難所のスペース確保が課題。在宅避難や車中泊等多様な避難形態で対応。町民への周知徹底に努める。

自転車の交通安全対策

Q 自転車保険加入状況は。

A 町内加入者数は不明。交通安全共済では、令和2年11月末現在4件の見舞金を支給。

Q 自転車保険加入促進を。

A 町の広報や小中学校でチラシを使い、PRしていく。

ごみ回収方法の見直しは

Q CO2削減のため、生ごみ回収を燃やすごみ回収と合わせて実施できないか。

A 生ごみリサイクル事業への加入促進で対応する。

Q 隣市のように、不燃物のコンテナ回収の検討を。

A 住民や衛自連の協力が。必要。費用や集積場所の課題がある。現状の袋での回収が分別しやすく、利便性もよく、衛生的でもある。

# 新人議員紹介



「健康福祉のまちづくり」の  
実現を目指して  
田嶋 彰

2期目最後の議員研修先にて

11月の町議会議員補欠選挙にて、当選させていただきました、田嶋彰です。

これから迎える超少子高齢社会は、高齢者が急速に増加する一方で、子どもや働く人が大幅に減少していく社会です。団塊の世代が後期高齢者となるなど、人口構造が大きく変化する未来を見据え、高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての住民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができる「健康福祉のまちづくり」を実現するために活動してまいります。下諏訪町は諏訪地域の中で、高齢化率が最も高い自治体ではありますが、高齢者の皆様が安心して、快適に生活できる環境を作っていくことが大切だと考えます。

2期8年の議員経験を生かして、町民の皆様の声をしっかりと受け止めて、住民の皆様が下諏訪に住んでよかった、高齢者の皆様が下諏訪に住んでよかったと言われる町にしていきたい。皆様の声を色々な場面でお聞かせください。

## コロナ対応の具体化

Q 岡谷市との協同事業の進捗状況は。

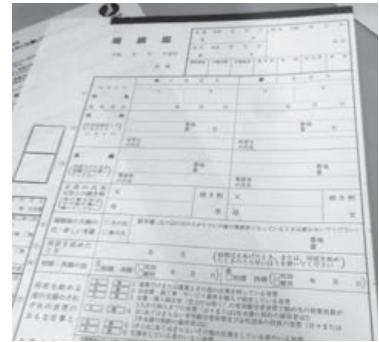
A 人口割負担金で、岡谷市民病院に衛生資材を購入済み。

## 各種届出の利便性向上を

Q ホームページ上での書類のダウンロードを可能にできないか。記載例の掲載も。

A 法により、できるもの、できないものがあるので、今後研究していく。

オンラインで手続きできないの？



Q 死亡届提出時の各種手続きのワンストップ化状況は。

A 総合窓口で関係する担当職員を呼び、対応している。

## ICT化教育への姿勢は

Q 国の学校教育情報化認定に参加してほしいが。

A 今後研究していく。

Q ICT化教育首長協議会への参加は、いかがか。

A 今後の状況を見て対応。

## いずみ湖公園の管理方法

Q キャンプスペースの有料化と、管理人配置の考えは。

A 週1回程度、担当課で巡回。利用者の早朝・夜間の出発や到着もあり、有料

化や管理人配置は難かしいが、今後マレット場管理と併せて研究。

## 出産・子育て情報電子化

Q 母子手帳の電子化は。

A 国の法で決まっているので、印刷手帳のみ。

Q 子育てアプリで各種案内をしてほしい。

A 配信できるものは行っていく。紙媒体を望む声もあるので、併用していく。

## 空き家の活用どう進める

Q 御田町の町所有空き家に事業者誘致の要望有るが。

A 現時点で引き合いがある。町の賑わいに寄与する事業者が望ましい。



御田町の当該物件

# “町議はこんな議会にも参加しています”

諏訪広域公立大学事務組合議会

## 諏訪東京理科大学

### 9号館増設

当議会からは金井敬子議長、村光良議員が所属しています。

令和2年第2回定例会が、10月13日、茅野市役所議会棟で開催されました。

★議案は、令和元年度 諏訪広域公立大学事務組合一般会計歳入歳出決算の認定についての1件です。

▼実質収支に関する調査では、歳入総額17億3405万4000円。歳出総額16億5199万3000円。歳入歳出差引額8206万1000円。

▼財産に関する調査では、◎公有財産の出資による権利では、決算年度中の増減はなく、大学の土地・建物の22億1291万8000円です。

◎基金では、決算年度中の増減高は2億1675万1000円で、年度末残高は5億8005万5000円です。

本会議で認定されました。

★報告案件は3件です。

▼事務組合の一般会計予算繰越明許費繰越計算書で、大学9号館



完成が近い9号館

の建設工事にあたり、建築確認の「構造計算適合性判定」に想定以上の時間を要し、着工が遅れたことに伴い、令和元年度分工事が年度内に完了しないため、繰越明許費として8833万円を計上しています。一般財源の8028万8000円と県の未収入特定財源の804万2000円を合わせた額です。

あとの2件は、公立大学法人としての大学からの報告です。

▼公立大学法人 公立諏訪東京理科大学の経営状況について

▼公立大学法人 公立諏訪東京理科大学の令和元年度業務に関する評価について

本会議終了後の全員協議会では、本会議での報告案件の詳細説明と、大学のコロナウイルス感染症対策に係る授業対応について説明がありました。

湖周行政事務組合議会

## 最終処分場の

### 調査継続中

当議会からは、金井敬子議長、岩村清司、松井節夫、野沢弘子の各議員が所属しています。

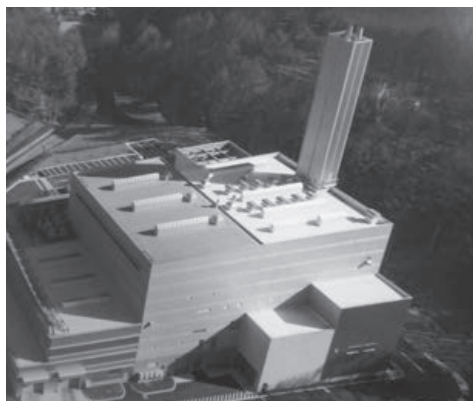
令和2年第2回定例会は、10月12日、岡谷市役所議場で開会されました。

冒頭、副組合長の青木町長より退任の挨拶がありました。

★議案は令和元年度湖周行政事務組合会計歳入歳出決算認定についてと、湖周行政事務組合監査委員の選任についてです。

▼歳入決算では、7億5912万2552円で、内容は分担金及び負担金が4億2687万9592円。諸収入1億5930万1360円。使用料及び手数料が1億7294万1600円です。

諸収入は発生した熱を利用した発電による売電収入などです。歳出決算では、同じく7億5912万2552円で、主な内容は公債費が元利2億8145万7242円。衛生費4億1495万4516円などで、実質



湖周クリーンセンター “eco poppo”

収支額は0円です。

▼財産に関する調査では公有財産としての土地および建物は、中間処理施設である諏訪湖周クリーンセンターの建物で前年度から変化はありません。

★湖周行政事務組合監査委員選任議案は、宮坂議員の辞職に伴い担当していた後任を選任するため、金井敬子議員の監査役就任を承認するものです。

二議案は全員の賛成で可決承認されました。

本会議に先立って行われた全員協議会では、最終処分場の予定候補地板沢地区への電気探査調査の進捗状況が報告されました。調査は継続中で3月末まで行われることが示されました。

# 議会だよりモニターの目



10月より新たなモニターさん13人にご意見をいただきました。大変ありがとうございます。2年間ご協力よろしく申し上げます。

モニターから  
のご意見

編集委員  
より回答

## ■ 議会だより第29号のアンケート結果(抜粋) ■

### Q1 議会だよりをお読みいただいていたか

- 時々読んでいた。(5)
- 発行しているのを知らなかった。(3)
- 毎回読んでいた。(2)
- あまり読まなかった。(2)

議会だよりをどこで入手するか解らなかった。

全戸配布や、ホームページへの掲載の他、議会事務局(役場3階)でも配布しています。

町民の暮らしに直接関わるトピックに目がいきます。

これからも積極的に取り入れていきます。

### Q2 興味関心をもった記事

- 一般質問(10)
- 好きですしもすわ(9)
- 常任委員会の審査報告(8)
- 表紙(5)

表紙のデザインの改善の余地がある。

インパクトのある表紙にしていきます。

記事の文字が2色なので、読みやすい。

### Q3 つまらなかった記事

- 賛否一覧(3)
- 一目でわかる議決結果(2)

反対理由が示されていない。

賛成、反対の意見をできるだけ明記します。

## 議会掲示板



認知症サポーター  
養成講座



認知症サポーターの証  
オレンジリング

「認知症サポーター養成講座」受講  
1月7日に「認知症サポーター養成講座」を開催し議員全員で受講しました。講師は下諏訪町キャラバンメイト連絡会の5名の方にお願ひしました。  
認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族に対して見守る応援者です。  
受講者全員に認知症サポーターの証としてオレンジリングが渡されました。オレンジリングを身に着けることで、周囲に「あの人は、認知症の人のお手伝いをしているんだな」との証になります。

## 好きですしもすわ

「下諏訪駅で  
お出迎え」ふとくれ



下諏訪駅長 轟 浩 昌

2018年4月に着任して以来、下諏訪駅に親しみをもって接していただきありがとうございます。下諏訪町はヒューマンスケールのサイズや路地の構成、行き会うごとにあいさつをしよう温かさを感じています。

下諏訪駅で電車を降りて、二次交通を使わず歩いて大社に参拝ができる距離感は最大の強み、そして規格外の細い路地を入ると曲がりくねったり、水路と並行したり、道端に花が咲き並んだり、塀や壁の材質に歴史を感じたり：昔ながらの街道筋の街が残り、江戸時代にも、昭和にも行ける、時代トリップができるレトロ感もあり魅力たっぷりです。

また、シャッター通りの中にも、洒落た店が並び始めていて、街に芽吹きを感じがみられ、新しい何かが始まりそうな魅力を感じています。都会から来られる方も、それぞれ似たような印象を受け、この魅力に引き寄せられるのではないのでしょうか。そして、何より街に新しい人を受け入れる土壌があり、若い地域おこし協力隊や移住して活躍されている皆さまがさらに街に息吹を与えている印象も持っています。下諏訪駅も街の一員として、より多くのお客さまをお迎えし、地域に貢献できるよう努めてまいりますのでよろしくお願ひします。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

町長選挙の影響で12月議会が12月一杯まで掛かり発行が遅れてしまい申し訳ありません。

コロナの勢いは止まらず、様々な影響が出ています。私たち個人が窮屈ではありますが、感染予防に努めることが、大切なのは云々までもありません。収束して東京オリンピックをはじめ予定された催しや行事が行われる当たり前の日常生活に戻ることを切望しています。

今年の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。(Y・M)

### 広報特別委員会

- 委員長 森 安夫
- 副委員長 松井節夫
- 委員 中村光良
- 委員 樽川信仁
- 委員 林 元夫
- 委員 大橋和子



議長をつぶやき

嬉しい受賞

議長 金井 敬子

当議会が向陽高校の文化祭に出かけて行って、来場者とフリーに語る「語るカフェ」を始めたのは4年前。その前年の向陽生との懇談会で、「向陽祭に、もっと町の皆さんに来てほしい」との向陽祭実行委員長の話がきっかけでした。「私たち議員もほとんど行ったことがないし、お邪魔しましょう。ちょっとスペースをお借りして、ざつぱらんに語る場を設けてみましょうよ」と出かけた初回。

やしまるを配した看板を作り、話すテーマをいくつか決めてオープンしましたが、高校生の日常や将来の夢などを聞かせていただくところから話題が膨らみ、テーマは不要でした。議員の仕事についての疑問やまちづくりへのアイデアも出されたり、時

には「恋バナ」も飛び出しました。生徒会の皆さんの交替で来室しようとの気遣いは恐縮しましたが、何十年ぶりかで文化祭の活気に触れ沢山の元気を頂戴し、引き上げる時には参加議員の表情が若返っていたことが実に印象的でした。

この「語るカフェ」が、昨年第15回マニフェスト大賞(日本最大規模の政策コンテスト)で「エリア選抜認定」を受けることができました。全国138件の認定の一つで最優秀賞



昨年度「語るカフェ」から

とはご縁がありませんでしたが、「開かれた議会」を目指す私たちには大きな励みとなりました。昨年は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでしたが、是非再開したいものです。